

平成 29 年 12 月吉日

狭山市長

小谷野 剛 様

川越狭山工業会
代表者 会長 石田 嵩

狭山市への意見・要望について

日頃より川越狭山工業会の事業運営にご支援・ご協力を賜り厚くお礼申しあげます。

さて、当会におきましては、県内有数の工業団地であることに鑑み、模範的工業団地の運営、環境整備等を目指し活動を展開しているところでございます。そうした中で、市行政に関わる課題も抱えており、行政と当工業会が互いに連携を図り活力ある地域社会づくりをめざしていききたいと考えております。

つきましては、大変ご多用の中恐縮ですが、本要望内容について十分にご検討いただき、ご回答がまとまり次第に、日程調整の上、懇談の場を設けていただければ幸いに存じます。

何卒よろしくお願い申し上げます。

記

1. 工業振興策について（継続要望）

昨年、産業労働センターの有効活用事業という視点での工業振興策として、指定管理者としての専門性を活かした事業取り組みや、「モノづくり企業フェア」の開催による市内企業 PR 展示の事業紹介をいただきました。

また、狭山市モノづくり PR/人材確保応援事業として、若い世代に向けて市内の企業を紹介する冊子や WEB の作成・公開／配布とイベント開催による仕事としての「モノづくり」に対する興味や関心を喚起し、地元企業への就職や地域の活性化を図る取り組みを行っていることは、意義のある取り組みであると受け止めている。

こうした取り組みを企業側ニーズとのマッチングを検証しながら、さらに発展させることが必要と考えるが、市としての考えをお聞きしたい。

2. 製造業の人材確保に対する支援について

企業にとって人材確保に向けた取り組みは喫緊の課題である一方で、少子高齢化の進展に伴う労働人口の急速な減少が懸念されている。

こうした状況下で、工業会会員企業においては経済環境の好転をうけ、企業規模にかかわらず人手不足に陥っている所が多くあります。川越・狭山両市には工業高校や経済高校等が複数あり、優秀な人材を輩出しておられると思いますが、特に中小企業については求人を出しても選択肢になっていない現状があります。

また、非正規従業員（パート含む）の求人においても、応募者自体が集まらず苦慮しているのが実態であります。

狭山市としても、「モノづくり」に対する興味や関心を喚起し、地元企業への就職や地域の活性化を図る取り組みを行っているところではあるものの、十分な改善に至っている状況にあるとは言えない。

こうした実態をどのようにとらえているのか、また、更なる市としての取り組みがあれば確認したい。

3. 魅力あるまちづくりについて

狭山市においては、「ふるさとモノづくり応援プロジェクト事業」での本物づくりの企業PR・イベント開催や、入間川とことん活用プロジェクト事業として新富士見橋と昭代橋の間の左岸側の公園の施設整備の計画、狭山茶消費拡大振興事業としての狭山市産狭山茶のロゴマークの製作、オリジナルレシピの開発、狭山茶を使った商品開発など、狭山市の魅力発信のための様々な取り組みを行っていることにつきましては承知しているところであります。

一方で、近隣の市町村との比較においては、知名度や認知度が不足している感じは否めないところであります。

この様な状況について、市としてどのように受け止めているのか。また、今後の更なる魅力づくりに向けた施策についてお聞きしたい。

4. 企業誘致及び道路環境整備について

圏央道の整備やネットショッピングの普及に伴い、狭山市周辺においても大型物流倉庫の建設が盛んにおこなわれております。一般に、新しい大型物流倉庫は省人化が進んでいることから新たな雇用をあまり期待できず、付近の道路事情が悪化するという問題も抱えております。

当工業団地内川越市に現在建設中の大型物流倉庫も、国道に出るまでの道路事情が悪く、さらなる渋滞の誘発、交通安全面でのリスクの増大が懸念されております。こうした中で、今後の企業誘致の方向性や、大型物流倉庫の建設に伴う道路整備に関しまして、市としての見解をお聞かせ願いたい。

5. 期日前投票所の増設について（継続要望）

先般の衆議院選挙におきましては、期日前投票が大変混雑し投票に1時間近くもかかった例も聞いております。昨年の要望に対する回答では、「市内ショッピングモール内などへの増設を折衝したものの、駐車場不足への対処、投票所開設スペースの確保、営業時間と投票時間の相違などから、開設は難しい状況」との回答をいただきました。

一方で、近隣市をはじめとした県内の開設状況を見極めながら、開設場所や費用面なども考慮し、引き続き検討していくということでしたのが、その後の検討状況を確認したい。

以上